

平成28年 8月 3日

船工28第237号

報 道 各 位

インドネシア船用工業セミナー (Business Matching Forum) の開催結果について

一般社団法人 日本船用工業会

当工業会は日本財団の助成事業として、7月27日(水)、インドネシア共和国・ジャカルタ市において、下記のとおり、我が国船用製品を広く紹介するため、「Indonesia-Japan Business Matching Forum」と称して船用工業セミナーを開催しました。

今回のセミナーはインドネシアにおいて2回目の開催でしたが(前回は平成26年3月4日)、我が国からは当会松井副会長を始め会員企業27社80人余り及び国土交通省海事局河野国際業務室長が参加する一方、インドネシアからは、海事調整省Dr. Ridwan Djamaluddin (リドワン・ジャマルディン) 副大臣を始めとする政府、船主、造船所等の海事関係者、笹川フェロー卒業生(注¹)など計188人、総勢約270名が集い、当会がこれまで各国で開催した船用工業セミナーのうち最大規模のものとなりました。

今回開催の目的は、同国での前回セミナー開催以降、2014年10月に就任したJoko Widodo大統領の下、新たに打ち出された海洋国家構想において「海事業の振興」が掲げられたことを契機に、以前から続いている船舶老朽化の問題を含め新造船建造の可能性が高まっていることを背景に、再度インドネシア海事関係者との関係を強化しようとしたものです。なお、当会は、本年2月29日に、国土交通省と共催し、インドネシア政府関係者を日本に招聘して「日インドネシア海事産業セミナー」を開催したところですが、今回のセミナーはこうした取り組みをさらに加速するものです。

記

1. 日時 : 平成28年7月27日(水) 10:30~17:00
2. 開催場所 : インドネシア共和国・ジャカルタ市 インターコンチネンタルホテル
3. 当会会員参加企業27社 : 五十音順
(株)赤阪鐵工所、潮冷熱(株)、神奈川機器工業(株)、かもめプロペラ(株)、川崎重工業(株)、KEMEL ASIA PACIFIC PTE LTD、(株)ササクラ、JRCS(株)、(株)スタビロ、大晃機械工業(株)、ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、高階救命器具(株)、ナカシマプロペラ(株)、ナブテスコ(株)、新潟原動機(株)、阪神内燃機工業(株)、富士貿易(株)、古野電気(株)、兵神機械工業(株)、ボルカノ(株)、(株)マキタ、眞鍋造機(株)、三菱重工船用機械エン

注¹ : 日本財団が奨学金を供与している世界海事大学(WMU)の学生・卒業生。途上国の海事関係政府・業界の幹部を輩出している。

ジン(株)、(株)ヤマトメタル、ヤンマー(株)、郵船商事(株)

4. プログラム（詳細は別添ご参照）

【午前の部】

松井副会長の開会の挨拶に始まり、下記順に、両国の政府・業界関係者から、それぞれのプロジェクトや施策等について講演が行われた。

- ・INDONESIAN NATIONAL SHIPOWNERS' ASSOCIATION（インドネシア船主協会）Mr. Johnson W. Sutjipto 会長
- ・INDONESIA SHIPBUILDING AND OFFSHORE INDUSTRIES ASSOCIATION（インドネシア造船・オフショア工業会）Mr. TJAHJONO ROESDIANTO 前会長
- ・Coordinating Ministry for Maritime Affairs and Resources, The Republic of Indonesia（インドネシア海事調整省）Dr. Ridwan Djamaluddin 副大臣
- ・国土交通省海事局船舶産業課 河野国際業務室長
- ・Indonesia Ministry of Transportation（運輸省）Mr. ADOLF R. TAMBUNAN/HEAD OF MAKASAR MAIN PORT AUTHORITY

【午後の部】

- ・参加企業が多数のため、製品紹介のプレゼンテーションを2つのグループに分け行った。また、今回、新たな試みとして、顧客と企業が直接対話できる環境を作るため、セミナー会場後方に参加企業毎の商談テーブルを用意した。併せて、商談を活性化させるため、昼食時には、商談テーブル付近でランチレセプションを実施した。こうした取り組みは参加企業間で事前に意見交換を行い、実行したもの。
- ・会場では、当会がこれまでに作成した、製品カテゴリ毎の「商船向けパンフレット」、「ECOカタログ」（省エネ製品）、「オフショア向けカタログ」及び「漁船向け製品リスト」の配布を行い、会員企業全般のPRを行った。
- ・ト部海外市場開拓検討WG座長の挨拶で各社プレゼンテーションを終了した後、山田副会長の挨拶及びINDONESIA SHIPBUILDING AND OFFSHORE INDUSTRIES ASSOCIATION（インドネシア造船、オフショア工業会）Eddy Kurniawan Logam 会長の乾杯で、ネットワークレセプションを開催した。当レセプションにおいても、多くの顧客と会員企業が親睦を図り、友好的な雰囲気の下、木下副会長の挨拶で幕を閉じた。

5. その他

セミナー開催に先立ち、今回のインドネシア訪問の機会に、当工業会は松井・木下副会長と共に、同国の省庁、団体を訪問し、当工業会の取り組みや我が国船用工業をPRするとともに、訪問先の施策等について意見交換を行った。

7月25日：

MINISTRY OF MARINE AFFAIRS AND FISHERIES（インドネシア海洋水産省）

・M. Zulficar Mochtar / PLT. Director General

◆2016年は3,450隻、2017年は3,500隻～3,700隻の建造支援計画がある旨を伺った。

7月26日

- ① MINISTRY OF TRANSPORTATION (インドネシア運輸省)
 - ・内航船500隻建造支援計画がある旨を伺った。
- ② INDONESIAN NATIONAL SHIPOWNERS' ASSOCIATION (インドネシア船主協会)
 - ・Johnson W. Sutjipto / Chairman
 - ・Siana A. Surya / General Treasurer
- ③ INDONESIA SHIPBUILDING AND OFFSHORE INDUSTRIES ASSOCIATION (インドネシア造船、オフショア工業会)
 - ・NOVIRWAN S. SAID / Head of Organization, Membership and Funds
 - ・IHSAN MAHYUDIN / Secretary

以上



MINISTRY OF MARINE AFFAIRS AND FISHERIES (インドネシア海洋水産省)



左から2番目 : Mr. M. Zulficar Mochtar / PLT. Director General

MINISTRY OF TRANSPORTATION (インドネシア運輸省)



INDONESIAN NATIONAL SHIPOWNERS' ASSOCIATION (インドネシア船主協会)



下段右から 2 番目 : Mr. Johnson W. Sutjipto / Chairman

下段一番右 : Ms. Siana A. Surya

INDONESIA SHIPBUILDING AND OFFSHORE INDUSTRIES ASSOCIATION (インドネシア造船、オフショア工業会)



下段 : 左から 3 番目 : Mr. Novirwan S. Said / Head of Organization, Membership and Funds

下段 : 一番右 : Mr. Ihsan Mahyudin / Secretary

松井副会長の挨拶



INDONESIAN NATIONAL SHIPOWNERS' ASSOCIATION (インドネシア船主協会)
Mr. Johnson W. Sutjipto 会長の講演



INDONESIA SHIPBUILDING AND OFFSHORE INDUSTRIES ASSOCIATION (インドネシア造船、オフショア工業会) Mr. TJAHJONO ROESDIANTO 前会長の講演



Coordinating Ministry for Maritime Affairs and Resources, The Republic of Indonesia (インドネシア海事調整庁) Dr. Ridwan Djameluddin 副大臣の講演



国土交通省船舶産業課 河野国際業務室長の講演



Indonesia Ministry of Transportation (運輸省) Mr. ADOLF R. TAMBUNAN/HEAD OF MAKASAR MAIN PORT AUTHORITY の講演



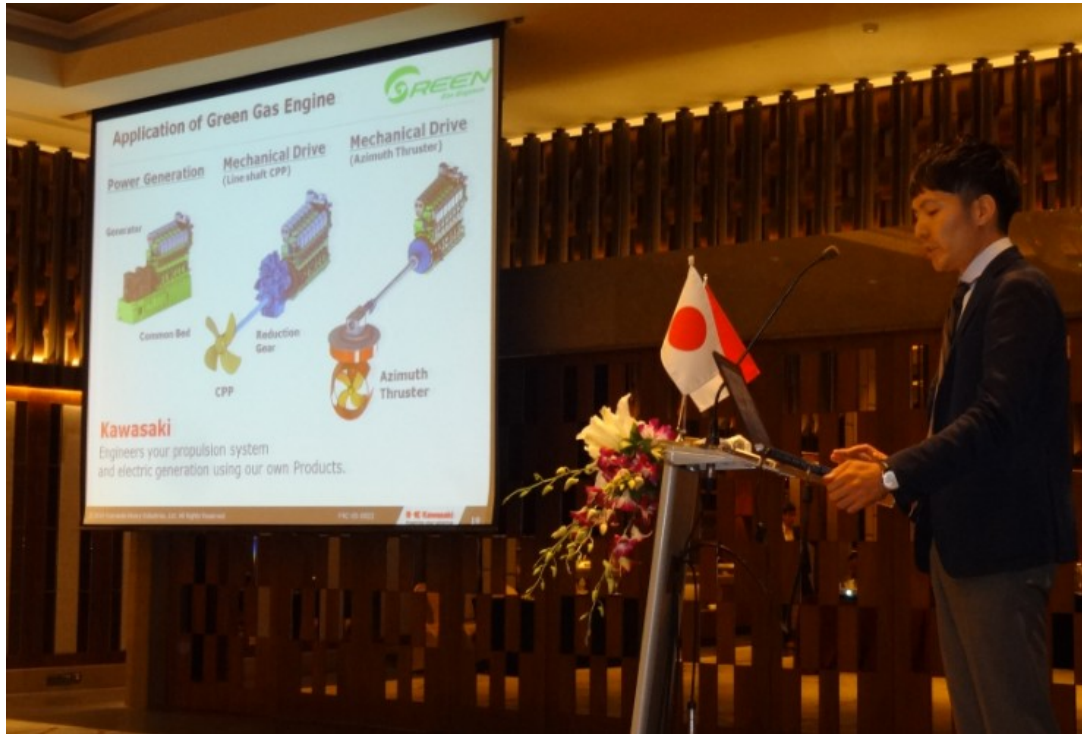
集合写真



会場の様子（インドネシア側来場者過多により座席を追加して補った）



プレゼンの様子



レセプション山田副会長の挨拶



INDONESIA SHIPBUILDING AND OFFSHORE INDUSTRIES ASSOCIATION（インドネシア造船、オフショア工業会） Eddy Kurniawan Logam 会長の乾杯



木下副会長の挨拶



商談テーブルの様子



2 つに分けたプレゼンテーションの様子



